

地形図のある学校図書館の創設プロジェクト

モニタリング調査実施要領

「地形図のある学校図書館の創設」実行委員会事務局

(2023 年度 公益財団法人図書館振興財団助成事業)

※本実施要領の位置付け

この実施要領は、公益財団法人図書館振興財団助成事業に係るモニタリング調査を実施するに当たり、参加校に配布するものです。

その他の目的での使用はご遠慮ください。

「地形図のある学校図書館の創設」プロジェクト

モニタリング実施要領

■プロジェクトの概要

これからの社会を生きる児童生徒には、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することが求められています。また、そこで考察、構想する際の「視点や方法（考え方）」としては、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説地理歴史編の中の「地理総合」によると、「社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること」としています（※高等学校学習指導要領解説地理歴史編 P36）。このことにより、地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校から、さまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解することが重要です。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院刊行の地形図（紙地図）の読図等を奨励しています。地形図は日本の領土・領海などのほか、私たちの住むまちの、地理・歴史・文化・産業・防災等を学ぶ際にも、極めて重要なツールとなります。さらに、古い地形図はアーカイブとしての価値もありますが、新しい地形図と見比べることにより、地域の変革を知ることができ、将来への展望や現在の地域としてのリスクを考察するための資料としての価値もあります。

こうしたことから、今般、一般社団法人地図協会と一般財団法人日本地図センターは実行委員会を立ち上げ、関係機関と連携し、全国の学校図書館にその地域の地形図等を常備するためのプロジェクトを進めます。

そのためのパイロット事業として、モデルとなっていただける学校図書館に対し、地形図等セット（地域の最新地形図、地域の旧版地形図、撮影年代ごとの地域の空中写真、これらの利活用方法を記した解説冊子等で構成されるプロトタイプ教材）を送付・配備することにより、利便性やより良い活用に関する意見や感想の収集、また、児童・生徒の利活用状況に関する効果検証となるモニタリングを行います。

■提供する「地形図等セット」 （同梱された別添バインダー）

セット内容

- ・2万5千分1 地形図
- ・5万分1 地形図
- ・20万分1 地勢図
- ・50万分1 地方図
- ・100万分1 日本
- ・500万分1 日本とその周辺
- ・空中写真
- ・旧版地図
- ・利活用街ガイダンス（利活用方法を紹介した解説冊子）
- ・マップインデックス（A3版）
- ・「地形図のある学校図書館の創設」モニタリング調査実施要領

※地形図等はモニタリング校が所在する都府県の包括範囲が、空中写真・旧版地図は当該学校が所在する地域が収められています。

■モニタリング期間

地形図等セットご提供後、2023年9月～2024年1月（5ヵ月）の間

■モニタリング内容

- ①「地形図等セット」利活用計画表(目標)の作成
- ②「地形図等セット」の利活用状況の把握
 - ・学校図書館での活用状況（閲覧簿） 別紙1～2
 - ・授業現場での活用（貸出簿） 別紙3
- ③社会科及び地理教科（中学校地理的分野、高等学校「地理総合」等）を担当する先生方による報告書の作成
 - ・報告はA4サイズで1枚以上（書式は任意）
- ④訪問調査の実施
- ⑤終了時のアンケートへの協力
- ⑥その他（お願い）

具体的な取り組み：

1. 「地形図等セット」利活用計画表(目標)の作成

- ・応募時に応募理由等をお示しいただきましたが、半年間のモニタリングを進めさせていただくにあたり、細部まで検討されなくても結構ですので、「地形図等セット」の配備に伴う活用計画及び目標をご提出いただきます。活動計画及び目標は以下の2. 3. 4. を参考にして記載いただければと存じます。

なお、書式等は下記の Web サイトからダウンロードし、概ね「地形図等セット」提供後1か月以内にご提出をお願いします。

- ・計画表提出時に地形図等セットの設置が完了している場合は、可能な範囲で設置風景のスナップ写真の貼付をお願いします。
- ・計画表に基づき、訪問調査、専門家派遣等によるヒアリング等を検討します。

https://www.jmc.or.jp/2023/06/map_monitoring/

【「地形図等セット」利活用計画表】

提出締め切り：2023年9月25日までをお願いします。

提出先：chizukan@jmc.or.jp 又は、hanbai@naigai-map.co.jp

2. 「地形図等セット」の利活用状況の把握

下記の Web サイトから閲覧簿、貸出簿の書式をダウンロードし、閲覧及び貸出に関する統計をお取りいただき、モニタリング終了後に回数等の報告をお願いします。

なお、おおよその数と主な目的を把握するのが目的ですので、抜け落ちがあっても問題ございません。

https://www.jmc.or.jp/2023/06/map_monitoring/

【「閲覧簿」別紙1～2】 【「教員用貸出簿」別紙3】

(モニタリング終了後、利用数及び主な目的等の報告をお願いします。)

○学校図書館での活用状況（閲覧管理簿）

- ・可能な限り、地図閲覧コーナーの設置（お知らせ板等を掲示し、「地形図等セット」を平置きして閲覧可能な状況の創設努力）
- ・書架収納となった場合は、「地形図等セット」の所在の掲示案内の設置
- ・校内において「地形図等セット」閲覧コーナーが配置されているとの周知
- ・昼休みや放課後に児童・生徒、先生方が「地形図等セット」に触れた回数（閲覧簿で把握）の記録
- ・閲覧された日時と目的、人数、見て触っての意見や感想の集約
- ・学校司書、司書教諭から見た「地形図等セット」バインダー版の日々気づきの点（使い勝手や閲覧場所、ページ番号の必要性）などをコメントとして集約

○授業(教室)への貸出状況(貸出管理簿)

- 先生方がどのような授業(社会科、地理、歴史、地学等)で持ち出し、どのような活用がされたかを貸出簿を基に集計をお願いします。教科や回数など。
- 特に地理教科(中学校地理的分野、高等学校「地理総合」等)を担当する先生方には、授業でどのように活用したか、どのようなことに今後活用したいと思うかなど、貸出簿のメモ欄にその都度、ご記入をお願いします。

3. 地理教科(中学校地理的分野、高等学校「地理総合」等)を担当する先生方へのお願い

- 夏休み期間中に地理教科の先生以外の先生方にも「地形図等セット」をご覧いただき、何に使えるか、これを使ってこんなことをしてみたいなどの声を取りまとめ活用計画書に反映いただければと思います。(特に高等学校のモニタリング校様)
- 校内において「地形図等セット」閲覧コーナーが配置されたことの周知
- 図書館(室)へ「地図」を見に“行こう”の声掛けキャンペーンの実施
- 授業での「地形図等セット」の利活用に関する報告

(報告書の主な内容)

- * 2学期以降の授業(単元)でどのような地図をどの様に使用したか
- * 今年度は授業で活用する時間がとれない場合、来年度以降にどの様な活用が考えられるか
- * 提供した地形図で学校が所在する地域以外の地形図を使った授業ができたか、次年度以降出来そうか(全県分の地形図は、必要か不要か)
- * 授業ではどの地図が使えたか、地理院地図との併用で授業はできたか
- * 学校行事(林間学校・修学旅行等の事前・事後学習等)で必要とされる地域の地形図整備をどう考えるか
- * 授業に使用した場合の使い勝手やその他感じたこと等 など
- * 報告は A4 サイズで 1 枚以上(問題のない範囲で写真図表等を挿入してください)。
- * 提出は 2 月初旬とします。

4. 訪問調査の実施

本事業に参加いただいた都内近郊の学校に対し、訪問調査を実施させていただき、地形図等セットの構成・内容等の意見聴取を行い、学校図書館の実態に即した内容とするための調査にご協力をいただきます。

- 実施時期:「地形図等セット」利活用計画表が提出された 10 月以降
- モニタリング参加校の図書館に専門家を派遣し、地形図等セット等の活用方法等について助言・支援を予定。

・専門家

本実行委員会の専門委員会構成メンバー

寺本 潔 （東京成徳大学特任教授）

高橋 基之 （全国地理教育研究会会長、日本地図学会 常任委員長）

うらべ
ト部 勝彦 （日本大学教授、日本地図学会 常任委員長）

5. アンケートへの協力

今回のプロジェクトの実験の効果や改善点等を検証するため、モニタリング期間終了時にアンケートにご協力いただきます。（詳細は改めてご連絡します。）

6. その他 （お願い）

○積極的な情報発信のお願い

今回のモニタリング校への応募で「地形図等セット」が配備されたことにより、児童・生徒が興味を持った点や先生方が積極的に地図を活用するようになったなど、良い点などを積極的に他の学校関係者へ情報発信（ホームページなど）をお願いします。

また、社会科や地理の授業等の成果の公表や学会発表などに、「地形図のある学校図書館の創設」プロジェクトを活用した題材を取り上げていただくようお願いいたします。

○モニタリング校の相互のネットワークの構築

初年度となる「地形図のある学校図書館の創設」プロジェクトは、約70校の小中高校がモニタリングにご協力いただいております。どのような学校が参加されていて、図書館での利活用をどの様に進めているのか、社会科や地理の授業でどの様に活用しているかなどの情報交換を希望される場合は、事務局までご連絡ください。担当者のご照会などを調整させていただきます。

○引継ぎについて

特に公立学校の場合、人事異動などにより、「地形図等セット」の利活用の引継ぎが忘れ去られる懸念があります。継続的に利活用していただくよう、引継ぎシステムについてご検討をお願いします。

○貸出

モニタリング期間中に近隣の学校への貸出などを計画される場合は、事務局までご一報いただくようお願いいたします。

モニタリング調査に伴う利活用計画書

学校名： _____

代表者(記載者)： _____

※「地形図等セット」の配備に伴う活用計画及び目標の設定をお願いします。

無理な計画目標とはせず、特にこのようなことをやってみたい的な可能な範囲の計画で結構です。

学校図書館での活用	①地図閲覧コーナー(書架、平置き)の設置、校内周知方法、利活用(閲覧簿)の把握方法はどのようにお考えですか
	②法学校司書、司書教諭等による指導目標など
授業(教室)での活用	①各教科、各教諭による授業等で活用数(貸出簿)の把握について
	②実施要領3.の記載事項について計画及び目標をお願いします。特に各教科で「地形図等セット」を使ってこんなことをしてみたいなど具体的な目標(可能な範囲で)を記載ください また、モニタリング終了時の報告書の作成可否等について
	③実施要領4.の訪問調査において地形図等セット等の活用方法等について専門家の派遣による助言・支援を必要としますか
その他	・地形図等セットの設置状況報告 (スナップ写真等貼付)
	

書式のファイルは以下のサイトからダウンロードできます。

https://www.jmc.or.jp/2023/06/map_monitoring/

送付先：chizukan@jmc.or.jp

hanbai@naigai-map.co.jp

学校名：

(小学校用) NO.

「地形図等セット」 閲覧管理簿

NO.	閲覧日	学年	組	何人で利用しますか	閲覧図名	利用（閲覧：えつらん）目的	具体的な利用（閲覧：えつらん）理由	利用（閲覧：えつらん）しての感想
記載例	10月6日	4	2	3 人	1. 1/25,000 2. 1/50,000 3. 1/200,000 4. 1/500,000 5. 1/1,000,000 6. 1/5,000,000 7. 空中写真 8. 旧版地図	1. 個人的な調べもの 2. 自宅の周辺を確認するため 3. ただ眺めるため 4. 授業での調べもの 5. 課題研究 6. 宿題 7. 部活動 8. その他（右欄に具体理由を記入ください）	・地域調査のため。 ・等高線、縮尺、方位、地図記号等を学習するため ・ただ眺めたかった ・日本の位置と範囲、広がりを知りたかった	・セットが重くて扱いづらい ・空中写真（航空写真）が興味深かった
0	10月6日	6	2	○ 人	1、6	1	となり町まちまでの方向と道順を調べるため。	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

学校名：

(中学校・高等学校用) NO.

「地形図等セット」 閲覧管理簿

NO.	閲覧日	学年	組	何人で利用しますか	閲覧図名	閲覧目的	具体的な閲覧理由	閲覧しての感想
記載例	10月6日	2	2	3人	1. 1/25,000 2. 1/50,000 3. 1/200,000 4. 1/500,000 5. 1/1,000,000 6. 1/5,000,000 7. 空中写真 8. 旧版地図	1. 個人的な調べもの 2. 自宅の周辺を確認するため 3. ただ眺めるため 4. 授業での調べもの 5. 課題研究 6. 宿題 7. 部活動 8. その他（右欄に具体理由を記入ください）	・教科の身近な地域の調査で使う、コピーをお願いするため。 ・1/25,000地形図の等高線、縮尺を理解するため。 ・地形図の読図をするため。 ・災害時における危険箇所を地図から読み取るため。 ・Web地図との比較をしたかった。等々	・1枚1枚が抜きづらかった ・旧版地図が興味深かった ・おじいちゃん、おばあちゃんの出身県の地図が見たかった。 ・インデックスとの対比が難しい。 ・見たい地図がどこにあるか見つけづらい。
0	10月6日	2	2	○人	1 (水戸) 7、8	2	〇〇県の△△市の□□について位置とおおよその距離、周辺の地形や街並みを知りたかったから。	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

学校名：

(教員用) NO.

「地形図等セット」 貸出管理簿

NO.	地形図名またはセット毎	貸出日	返却予定日	教 諭	担当科	利用目的	利用（活用）方法等	今後のどのような利用が考えられるか
記載例	1/100万、1/500	11月6日	11月6日	〇〇教諭	1.地理総合 2.地理探究 3.歴史総合 4.日本史探究 5.世界史探究 6.公共 7.政治・経済 8.倫理 9.地学 10.物理 11.その他	1.地域調査の手法を身に着ける (等高線、縮尺の理解) 2.自然環境と防災 3.新旧地形図の比較 4.地図と地理情報システム 5.地形(図)の利用 6.地形、村落など読図 7.紙地図とWeb地図の情報量の違いを理解 8.その他	どのように授業でつあったかを具体的に	このような地図があればよかった など
0	セット毎	11月3日	11月5日	〇〇教諭	1	8		
1	1/100万、1/500	11月6日	11月6日	〇〇 〇〇	7	5		
2	1/2.5万 浦賀、秋谷、三浦三崎	11月10日	11月10日	〇〇 〇〇	9	6		
3								
4								
5								
6								
7								
8								